

No.	014	—	2001	事務事業名	人・農地プラン作成事業	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	24年度～年度				
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	1 農業の振興		主要施策	(1) 農業振興施策の総合的推進				
	事業の対象	集落、地域、地区 等				根拠法令	人・農地問題解決加速化支援事業実施要綱						
	事業の目的	最終的	地域の中心となる経営体(個人、法人、集落営農組織)の確保や、地域の中心となる経営体への農地集積に必要な取り組みを支援することにより、農業の競争力・体質強化を図り、持続可能な農業を実現します。				今年度	集落・地域での徹底的な話し合いにより、地域農業の在り方について議論を進め、地域農業を担う経営体や生産基盤となる農地を、将来においても確保していくための展望を作ります。					
	活動内容	①	今後の地域の中心となる経営体(個人、法人、集落営農組織)はどこかの話し合いを行います。				④	以上を定めた人・農地プランを作成及び更新するための事務を行います。					
		②	地域の中心となる経営体へどうやって農地を集めるかの話し合いを行います。(農地中間管理事業の活用を含む。)				⑤						
		③	地域の中心となる経営体とそれ以外の農業者(兼業農家、自給的農家)を含めた地域農業の在り方の話し合いを行います。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標		
				事務の性質上、指標設定になじまない。			目標						
					実績								
					目標								
					実績								
					目標								
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	農林水産業			費			
	直接事業費		平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考							
		国・県支出金	405 千円	200 千円	240 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	0 千円	127 千円	0 千円								
	計(A)	405 千円	327 千円	240 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.700 人	4,266 千円	0.993 人	5,971 千円	0.347 人	2,090 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		4,671 千円	6,298 千円	2,330 千円								
一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	農業者自身が議論を進めることにより、地域農業の将来ビジョンを明確にするために整備する必要があります。また、国・県による各種施策の採択要件としても当プランの整備が必要となります。												
有効性	当プランは、地域の中心となる経営体(個人、法人、集落営農組織)の確保や農地集積の計画としてのみでなく、中心経営体を支援する各種施策の指標としても活用されています。												
達成度	平成25年度において東温市全域を地域としてカバーできるプランが作成されており、状況の変化や地域での話し合いを通じて、順次更新を進めています。												
効率性	国の制度に基づき実施している事業であり、本市独自の判断で事業を見直すことは困難です。												
当面の課題	プランの更新に当たって、未掲載集落の追加及び農地中間管理事業や集落営農の組織化等について織り込んだものとする必要があります。												
改訂計画	県、市、農業協同組合が連携して、地域の意向をくみ取りプランに活かせるよう対応していきます。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	農業従事者の高齢化や後継者の不足、耕作放棄地の増加など、地域農業の抱える「人と農地の問題」により、将来の展望が描けない地域が増えています。作成されたプランに基づき新規就農者の確保や、農地の集積が進むことを期待します。また、作成されたプランについて、地域の実態にあわせた適切な見直しに努めてください。												

No.	014	—	2002	事務事業名	青年就農給付金事業	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	補助等	実施計画	非該当	事業期間	24年度～	年度				
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	1 農業の振興		主要施策	(3)担い手の育成・確保				
	事業の対象	独立・自営就農時の年齢が、原則45歳未満であり、農業経営者となることについての強い意志を有している者。				根拠法令	新規就農・経営継承総合支援事業実施要綱、東温市青年就農給付金交付要綱						
	事業の目的	最終的	持続可能な力強い農業の実現に向け、新規就農するにあたり、就農前後の青年新規就農者に対する給付金を給付します。			今年度	新規就農する青年等に対し、農業を始めてから経営が安定するまで、最長5年間、年間150万円を給付します。						
	活動内容	①	給付対象者への面接、協議、話し合い等を行います。				④	給付期間内及び給付期間終了後3年間、計画的な就農ができていのかどうか実施状況の確認を行います。					
		②	青年等就農計画の内容について審査等を行います。				⑤						
		③	給付対象者へ青年就農給付金を交付します。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終目標			
				事務の性質上、指標設定になじまない。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
				実績									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業			費				
	直接事業費		平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度予算	備考							
		国・県支出金	4,500千円	10,500千円	7,500千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	0千円	0千円	0千円								
	計(A)	4,500千円	10,500千円	7,500千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.300人	1,828千円	0.496人	2,982千円	0.447人	2,692千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		6,328千円	13,482千円	10,192千円								
一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	農業従事者の高齢化が急速に進展する中、持続可能な力強い農業を実現するためには、経営的に脆弱な若年新規就農者を、当事業により支援する必要があります。												
有効性	地域農業の今後の中心となる青年就農者の就農意欲の喚起と、就農後の定着の促進において、使途の自由度が高い当給付金は有効です。												
達成度	給付を受けた青年就農者は営農を継続しており、地域における農業の担い手となっています。												
効率性	国の制度に基づき実施している事業であり、本市独自の判断で事業を見直すことは困難です。												
当面の課題	農業技術が未熟であったり、施設等が不十分であるなど、新規就農者特有の問題があり、給付期間終了後の農業経営の安定に課題があります。												
改訂計画	関係機関が協力して、資金面も含めた施設整備や営農指導による支援を行います。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	農業従事者の高齢化や後継者の不足、耕作放棄地の増加など、地域農業の抱える問題が顕在化する中、地域農業の中心となる若い農業後継者の確保・育成に努めてください。												

No.	014	—	2003	事務事業名	認定農業者協議会事業	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	補助等	実施計画	非該当	事業期間	17年度～	年度				
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち	政策項目	1 農業の振興	主要施策	(3)担い手の育成・確保						
	事業の対象	農業経営基盤強化促進法による認定農業者				根拠法令	東温市農林漁業団体補助金交付要綱						
	事業の目的	最終的	認定農業者の効率的かつ安定的な農業経営を目指し、経営能力の向上及び農業が直面する課題の解決を図りながら、農業経営改善計画の達成に資するとともに、地域農業の振興と発展に寄与します。			今年度	勉強会・情報交換会の開催、先進地視察研修の実施、他組織の開催する研究会への参加等						
	活動内容	①	経営改善等に必要な研修会、相談会、講習会等の開催			④	会員間での情報収集・提供活動						
		②	農業施設についての提言及び具体的実践活動			⑤							
		③	関係機関、団体との連携による活動										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標			
				事務の性質上、指標設定になじまない。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
				実績									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業			費				
	直接事業費		平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	50千円	50千円	50千円								
	計(A)	50千円	50千円	50千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.248人	1,511千円	0.119人	716千円	0.074人	446千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		1,561千円	766千円	496千円								
一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	農業者の資質向上や経営改善、また、各種事業・制度の周知等においても重要な役割を果たしており、活動を支援していく必要があります。												
有効性	収益性の高い作目の情報紹介や、効果的な有害鳥獣対策の検討など、農業者目線の農業知識の普及に加え、優良事例の研修等を通じて営農意欲の喚起が図られています。												
達成度	会員の多くが人・農地プランの中心経営体に位置づけられており、地域農業の担い手として活動しています。												
効率性	会員より会費を徴収し、会計管理も適正に行われており、また、他の団体補助金と比しても費用対効果は優れていると思われます。												
当面の課題	農業者の高齢化に加えて、食用米に代表される農作物の価格低迷により、営農意欲の減退が懸念されます。												
改革計画	県・農業協同組合等の関係機関と協力して、農家の求める情報の発信を推進するとともに、未入会の認定農業者に積極的に働きかけ、活動の活性化を図ります。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	農業従事者の高齢化や後継者の不足、耕作放棄地の増加など、地域農業の抱える問題が顕在化する中、地域農業の担い手として、意欲を持って、安定した農業経営を営めるよう協議会活動が活発に行われるように努めてください。また、関係団体との意見交換を通じて相互啓発に努めてください。												

No.	014	—	2004	事務事業名	水田営農活性化対策事業	細事務事業名		公的関与	9				
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	補助等	実施計画	非該当	事業期間	25年度～27年度				
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	1 農業の振興		主要施策	(4) 農作物の計画的な生産と生産性の向上促進				
	事業の対象	農業協同組合、営農集団				根拠法令							
	事業の目的	最終的	産地・生産者の意欲的な取組を支援し、水田農業経営の安定と産地の活性化を図ります。			今年度	はだか麦の作付けの拡大						
	活動内容	①	はだか麦の作付拡大(種子助成)の推進			④							
		②	新品種及び戦略作物等の生産性向上、水田の高度利用、需要拡大等に必要の機械・施設の改修・整備			⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標			
		はだか麦の作付け拡大		新たに、はだか麦の作付けを拡大した箇所の累計面積		ha	目標 15	9	18				
					実績 14	13							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業			費				
	直接事業費		平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考							
		国・県支出金	1,900 千円	2,169 千円	4,481 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	825 千円	1,013 千円	2,168 千円								
	計(A)	2,725 千円	3,182 千円	6,649 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.028 人	171 千円	0.028 人	168 千円	0.000 人	0 千円					
臨時職員工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		2,896 千円		3,350 千円		6,649 千円							
一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	はだか麦の生産が多い当市において、この事業による補助は、農協及び農業者に非常にメリットがあり、はだか麦の生産を続けていくうえで、必要です。												
有効性	麦の生産に関する補助として、非常に恵まれた条件であり、今後の麦作付を維持・拡大するためには、非常に有効性が高いものです。												
達成度	当初計画より、実績が上回り、作付け拡大ができています。												
効率性	農協に補助し事業を実施しており、入札など適正に行っています。												
当面の課題	今年度から、えひめ型水田フル活用事業として衣替えされ、裏作だけでなく水稲についても対象となり、事業範囲が拡大したので、新たな活用先の掘り出しが必要です。												
改計画	県の普及指導員と協議しながら、事業の実施主体者を増やしていきます。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	はだか麦は、東温市の特産品であることから、今後もこの事業を活用して、麦の生産拡大に努めてください。												

No.	014	—	2005	事務事業名	田んぼの生きもの案内人育成事業	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	26年度～26年度				
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	1 農業の振興		主要施策	(1) 農業振興施策の総合的推進				
	事業の対象	中山間地域における集落営農組織の構成員				根拠法令	新ふるさとづくり総合支援事業費補助金交付要綱						
	事業の目的	最終的	耕作条件の悪い中山間地域の農業振興を図るため、優れた自然環境(生態系等)を切り口とした地域の新しい価値観を見出し、地域産農産物を差別化しアピールすることにより、新しい消費者の開拓及び農家収益の向上を目指します。				今年度	外部識者の指導の元、中山間地域の生物等について消費者に説明できる「田んぼの生きもの案内人」の育成及び地域産農産物の差別化、消費者へのアピールの方法等についての研修を行います。					
	活動内容	①	推進委員会の開催(研修会実施についての協議等)				④						
		②	研修会の開催(中山間地域の生態系について、他市町での地域農産物の差別化の取組等)				⑤						
		③	生きもの観察会及び地域産農産物のアピール演習の開催(消費地の児童とその保護者を招いての現地研修)										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標		
				事務の性質上、指標設定になじまない。			目標						
					実績								
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	農林水産業			費			
	直接事業費		平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	131 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	0 千円	219 千円	0 千円								
	計(A)	0 千円	350 千円	0 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.010 人	60 千円	0.000 人	0 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		0 千円	410 千円	0 千円								
一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	条件不利地である中山間地域での農業経営における収益性向上を図るためには、新たな視点からの取り組みが必要です。しかし、当事業は研修が主であり、即効性が見込めるものではないため、継続しての事業実施は行いません。												
有効性	中山間地域における中心的な経営体である集落営農組織に対し、具体的な方策について示すことにより、今後の各組織の取組を促す意味において有効です。												
達成度	市内の中山間地域における主な集落営農組織の参加を得て、「田んぼの生きもの案内人」育成という所期の目的は達成しました。												
効率性	県の補助を受けて事業を実施しており、また、講師を県内NPOとするなど経費削減にも努めました。												
当面の課題	当事業により各集落営農組織の得た「生き物観察会の開催」や「農産物の差別化・消費者へのアピール」等についてのノウハウをいかに活かし、収益性の向上を図るためにどのような取り組みを進めるかが課題となります。												
改画	国・県の各種施策を活用した中山間地域農業の活性化について、県や農業協同組合とも連携して推進します。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	D	必要性	2	有効性	3	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	廃止/休止
二次評価での指摘事項	事業により得たノウハウを、所得につなげる取り組みについて検討を進めてください。												

No.	014	—	2006	事務事業名	薬用植物産地化支援事業	細事務事業名	補助金交付・申請受付・現地確認・実績報告事務	公的関与	6				
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	補助等	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度	期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	1 農業の振興		主要施策	(1) 農業振興施策の総合的推進				
	事業の対象	農協連合会、農協、農業生産法人、集落営農組織、営農集団			根拠法令	東温市薬用植物産地化支援事業費補助金交付要綱							
	事業の目的	最終的	中山間地域等の地理的条件を生かし、薬用植物をはじめとする特徴ある新たな戦略品目の産地化を推進するため、省力・低コスト化や高品質生産に必要な機械・施設等の整備並びに既存産地の再編に必要な共同利用施設等の整備をする。			今年度							
	活動内容	①	農協などの事業実施主体を中心とする、薬用植物等の産地化を進める品目又は既存産地編成に必要な共同利用機械・施設整備に対し、交付金を交付します。			④							
		②				⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標			
		(事業の性質上、指標設定になじまない。)				目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業			費				
	直接事業費		平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	493 千円	1,090 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	0 千円	246 千円	545 千円								
	計(A)	0 千円	739 千円	1,635 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		0 千円	739 千円	1,635 千円								
一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	県策事業として、薬用植物をはじめとする新たな戦略品目の導入による特徴ある産地化を支援する必要があります。												
有効性	新たな戦略品目の推進を行うとともに遊休農地の有効利用等、中山間地域の振興にも役立つ効果の高い取組を促進することができます。												
達成度	薬用植物等の産地化を進める品目又は既存産地編成に必要な共同利用機械・施設整備に対し、交付金を交付します。												
効率性	県の制度に基づき実施している事業であり、本市独自の判断で事業を見直すことは困難です。												
当面の課題	近年、農業を取り巻く環境から、離農者の更なる増加により、地域の衰退が懸念されている状況となっているので、高齢者でも栽培しやすい新たな戦略品目の生産を推進する必要があります。												
改 革 画	東温市全域において、事業実施主体と連携しながら新たな戦略品目の生産を推進していく必要があります。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	農業従事者の高齢化や後継者の不足、耕作放棄地の増加など、地域農業の抱える問題が顕在化する中、高齢者でも栽培しやすい新たな作物として注目しています。栽培技術の確立による、安定的な農業経営に努めてください。												